

石臼のセカンドステージ始まる!

今でも多くのお客様に愛用されている播漬機。長年使用され、寿命を迎えた播漬機の石臼は、再利用が難しく、これまでは碎いて廃棄処分していました。庭石等に再利用できないだろうか、という声が以前から社内で上がっていましたが、運搬の問題もあった為、そのままになっていました。一方で、「譲って欲しい」という声も多かった為、社員が運搬できる範囲に限定し、宇部市民を対象に、「庭に石臼はいかが?」と地元の新聞に掲載したところ、多数の問合せがあり、準備していた状態の良い石臼50個は即完売(運搬費用として5千円~8千円)。「どんなものでも良いから譲ってほしい」との要望により、最終的には70名の方に88個の石臼をお譲りしました。その売上金は「地域福祉の向上に役立てて頂けたら」と福祉関係団体に寄付させて頂きました。

これらの多くの石臼は、新たなステージとして、庭石や金魚鉢、プランターとして再利用されています。



宇部日報社の脇社長へ売上金を手渡す柳屋社長

→
感謝の印
ある女性のお宅に
納品したところ、
「対応がとても良かった!」と
感謝のしるしに手づくりの
巾着袋を頂きました。



↑ 市内にある宗隣寺様では、長年の風雨で腐食が進んだ観音堂前の縁石立ての代わりに活用中!